

AD/ADAS評価用 VILベンチシステム

AD/ADAS evaluation VIL bench system

実車を供試体としたシミュレーションベンチであるRC-Sと、AD/ADASソリューション(GNSS・カメラ・レーダーシミュレーター等)を連携させた、AD/ADAS搭載車両の台上評価が可能となるVIL(Vehicle-in-the-Loop)ベンチシステムのご紹介です。

■ 概要

ドライバーや歩行者の安全・快適を実現するだけでなく、車の使い方を換えカーボンニュートラルへの貢献も期待されるAD/ADAS搭載車両。求められる機能要件や試験ボリュームは、増加の一途を辿っています。当社が持つ高度な計測・制御技術に培われたRC-Sと各種AD/ADASソリューションとの連携で、変化し続ける次世代自動車の開発要求に柔軟に対応致します。



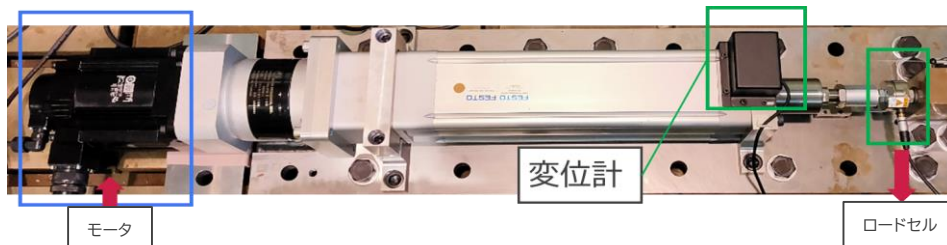
■ 特長

特長1 RC-Sと各種AD/ADASソリューションとの連携が可能

- ・ GNSSシミュレーター
車両シミュレーターより自車両の位置座標を演算。
カーナビへGNSSデータを入力し、自車両位置を模擬。
- ・ カメラシミュレーター
車両モデルから自車両挙動を演算し、自車両オブジェクト内にカメラモデルを設置。
シミュレーション結果をモニタ上へ描画。
- ・ レーダーシミュレーター
フロントレーダーに対しレーダーシミュレーターおよび電波吸収体を設置し、走行シナリオに合わせ周辺オブジェクト位置のパラメータを動的に模擬。

特長2 台上で曲がれる!? ステアリング負荷装置による「曲がる」の再現

実車タイロッド軸ハステアリング負荷装置を接続(※1)し、車両モデルからのタイロッド軸力を指令として印加(※2)。それにより、ステアリング反力を考慮したAD/ADAS機能評価(※3)が可能。



※1:タイロッドエンドの取りはずしが必要 ※2:タイロッド軸力で±100N以下の領域 ※3:LDW, LKAS, ACC, AEBS 他

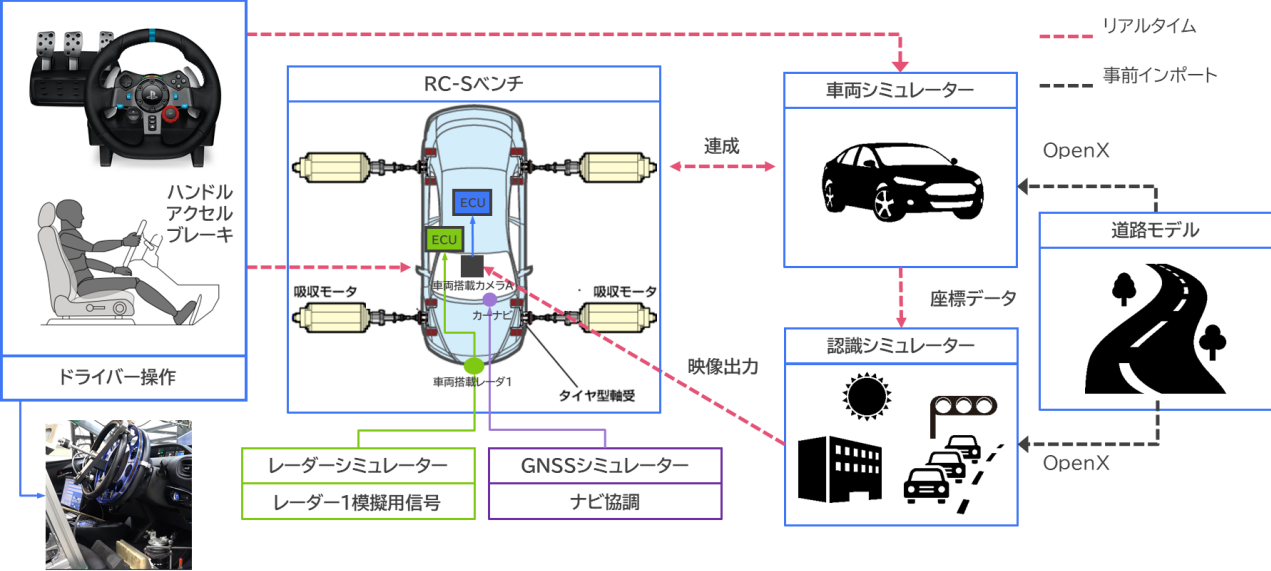
■ 事例紹介

レーダーシミュレーターとの連携によって、台上でAEB(衝突被害軽減ブレーキ装置)が作動する様子



■ 構成例

GNSS・カメラ・レーダーシミュレーターとの連携



※ハンドルACT、アクセル・ブレーキACTによる遠隔操作も可

※ Microsoft® Windows®は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。その他記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

お客様へのお願い ■ 輸出または国外へ持ち出す際のご注意
 当社製品（役務を含む）を輸出または国外へ持ち出す場合は、外為法（外国為替及び外国貿易法）の規定により、リスト規制該当品であれば、経済産業大臣へ輸出許可申請の手続きを行ってください。なお、非該当品であってもキャッチオール規制に該当する場合は、経済産業大臣へ輸出許可申請が必要となります。当社製品の該非判定書をお求めの際は、当社ホームページの該非判定書発行依頼ページよりご依頼ください。お問い合わせは、最寄りの当社営業所または当社総務人事グループまでご連絡ください。

- 機器を正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に必ず「取扱説明書」をよくお読みください。
- 本チラシ記載の価格はすべて税抜き価格です。
- 記載事項は変更になる場合がありますので、ご注文の際はご確認ください。

ご用命は担当営業へお気軽にご連絡ください。

株式会社 小野測器

〒220-0012 神奈川県横浜西区みなとみらい3-3-3
 横浜コネクスクエア12階 TEL.(045)935-3888

お客様相談室フリーダイヤル 0120-388841
 受付時間：9：00～12：00/13：00～18：00（土・日・祝日を除く）

北関東 (028) 684-2400 浜松 (053) 462-5611 九州 (092) 432-2335
 埼玉 (048) 474-8311 中部 (0565) 41-3551 海外 (045) 935-3918
 首都圏 (045) 935-3838 関西 (06) 6386-3141
 沼津 (055) 988-3738 広島 (082) 246-1777

ホームページ <https://www.onosokki.co.jp/>
 E-mail webinfo@onosokki.co.jp